

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	京都府
取組市町村名 取組団体・企業名	宇治市 健康生きがい課 宇治市健康づくり・食育アライアンスU-CHA加入団体 ・認定栄養ケア・ステーション アン・サンテ ・有限会社辰巳屋・京野菜いのうち・うじテレビ ・NPO 法人すまいるりんく・立命館宇治中学校・高等学校
取組の名称	「宇治市健康づくり・食育アライアンス「うーちゃんねる」による動画配信」
実施時期	第1回 令和2年10月19日～ 第2回 令和2年12月20日～
取組内容	<p>【目的】</p> <p>宇治市では、市内で健康づくりや食育活動に取り組んでいる団体や個人がつながって『宇治市健康づくり・食育アライアンスU-CHA』を形成している。</p> <p>市民に健康づくりや食育についての関心を持ってもらうことを目的に、今年度新たに YouTube チャンネル「うーちゃんねる」を立ち上げ、宇治市健康づくり・食育アライアンスU-CHAの加入団体の活動や活動への想いを発信する動画の配信を始めた。うーちゃんねるの動画作成においては、1回の企画につき加入団体を2団体以上参加してもらい、1つの動画を作り上げるという作業を通して、加入団体同士の交流を深め、更なる活動の活性化を図っている。</p> <p>【内容】</p> <p>うーちゃんねる 1回目 令和2年10月19日～ テーマ：有限会社辰巳屋と京野菜いのうちのコラボから生まれた「宇治の魅力～地産地消～」の折詰について※閲覧数 250回（2020年12月18日時点）</p> <p>うーちゃんねる 2回目 令和2年12月20日～ テーマ：市内の高校生による「おにぎりアクション」の活動と高校生の活動に協力する NPO 法人すまいるりんくについて</p> <p>新型コロナウイルス感染症が流行する中、従来の方法での普及啓発は困難であるが、動画配信という新たな発信方法を確認できた。</p> <p>『宇治市健康づくり・食育アライアンスU-CHA』は令和元年度に立ち上がったネットワークであり市民の認知度が低いこと、うーちゃんねるの閲覧回数が少ないことが課題である。普及啓発用ポスターを作成し今年度中に市内各所に掲示する、次年度以降も継続して動画配信をする等、取組を進めたい。</p>



普及啓発用ポスター

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

<p>提出都道府県名 政令指定都市名</p>	<p>京都府京田辺市</p>
<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>京田辺市 小学校全9校</p>
<p>取組の名称</p>	<p>「学校給食における「まるごときょうとの日」の取組」</p>
<p>実施時期</p>	<p>第1回 9月2日 第2回 12月10日</p>
<p>取組内容</p>	<p>京田辺市の全小学校の児童を対象に、学校給食において使用する農林水産物（牛乳以外）を全て京都府産とする「まるごときょうとの日」を実施しました。</p> <p>第1回の9月2日に実施した献立 『牛乳、ごはん、あじの竜田揚げ、万願寺の炒め煮、地元野菜の味噌汁』</p> <div data-bbox="494 840 869 1288" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="933 828 1380 1019" data-label="Text"> <p>教室掲示用ポスターを作成し 児童たちにまるごときょうと の日について説明しました</p> </div> <div data-bbox="933 1041 1460 1276" data-label="Text"> <p>【京田辺市産の食材】 米、なす、オクラ、玉ねぎ、青ねぎ、 じゃがいも、にんにく</p> <p>【京都府産の食材】 豚肉、あじ、万願寺とうがらし</p> </div> <p>第2回の12月10日に実施した献立 『牛乳、ごはん、みそクリームシチュー、れんこんサラダ』</p> <div data-bbox="454 1444 909 1780" data-label="Image"> </div> <p>子供たちは、地域の食材に触れながら楽しそうに給食を食べ、京田辺市の特産品に対する理解と関心を深めることができました。</p> <p>今後も学校給食の献立に地元産農作物を取り入れ、地産地消を進めていきたいと考えています。</p>



【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	京都府																																																																																																																																						
取組市町村名 取組団体・企業名	精華町																																																																																																																																						
取組の名称	「学校給食への地場産物野菜供給の取組」																																																																																																																																						
実施時期	通年																																																																																																																																						
取組内容	<p>・精華町農産物直売連絡協議会を中心として、地産地消や食育の推進を目的に、地域直売所・学校・町・J Aが連携し、年間を通して学校給食に安全・安心、新鮮な旬の精華町産の農産物の供給を行っています。</p> <p>・令和元年度から開始した学校給食地場産野菜調達業務を引き続き実施し、市場出荷農家による小松菜の納入を行っています。</p> <p>・定期的に学校給食納入会議を実施し、学校と農家による学校給食に係る意見交換をし、農産物の作付状況や生育状況の共有等を行っています。</p> <p>4月から11月の間で、11品目、約1,536kgの納入を行いました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="9">令和2年度4～11月(6月以外)</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">品目</th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">保育所</th> <th colspan="2">支援学校</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>量(kg)</th> <th>回数</th> <th>量(kg)</th> <th>回数</th> <th>量(kg)</th> <th>回数</th> <th>量(kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こまつな</td> <td>5</td> <td>180.6</td> <td>5</td> <td>115.9</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>10</td> <td>296.5</td> </tr> <tr> <td>じゃがいも</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>18.8</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>18.8</td> </tr> <tr> <td>玉ねぎ</td> <td>5</td> <td>301</td> <td>4</td> <td>111.1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>9</td> <td>412.1</td> </tr> <tr> <td>にんじん</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>4.7</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>青ねぎ</td> <td>5</td> <td>47.9</td> <td>2</td> <td>4.65</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>7</td> <td>52.55</td> </tr> <tr> <td>かぼちゃ</td> <td>1</td> <td>76</td> <td>1</td> <td>18.6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>94.6</td> </tr> <tr> <td>さつまいも</td> <td>3</td> <td>254</td> <td>3</td> <td>82.2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>336.2</td> </tr> <tr> <td>枝豆</td> <td>1</td> <td>70</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>1</td> <td>35</td> <td>3</td> <td>121</td> </tr> <tr> <td>だいこん</td> <td>1</td> <td>74</td> <td>1</td> <td>28.3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>102.3</td> </tr> <tr> <td>溶いも</td> <td>1</td> <td>74</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>味噌</td> <td>1</td> <td>19.7</td> <td>1</td> <td>4.4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>24.1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>23</td> <td>1097.2</td> <td>20</td> <td>404.65</td> <td>1</td> <td>35</td> <td>44</td> <td>1536.85</td> </tr> </tbody> </table> <p>農業者の高齢化や担い手不足等により、学校給食への納入団体が減少しています。今後についても、学校やJ Aと連携を図り、新規出荷農家の増加や地場産野菜の使用量増加、納入品目の増加に向けて調整していきます。</p>	令和2年度4～11月(6月以外)									品目	小学校		保育所		支援学校		合計		回数	量(kg)	回数	量(kg)	回数	量(kg)	回数	量(kg)	こまつな	5	180.6	5	115.9	0	0	10	296.5	じゃがいも	0	0	1	18.8	0	0	1	18.8	玉ねぎ	5	301	4	111.1	0	0	9	412.1	にんじん	0	0	1	4.7	0	0	1	4.7	青ねぎ	5	47.9	2	4.65	0	0	7	52.55	かぼちゃ	1	76	1	18.6	0	0	2	94.6	さつまいも	3	254	3	82.2	0	0	6	336.2	枝豆	1	70	1	16	1	35	3	121	だいこん	1	74	1	28.3	0	0	2	102.3	溶いも	1	74	0	0	0	0	1	74	味噌	1	19.7	1	4.4	0	0	2	24.1	合計	23	1097.2	20	404.65	1	35	44	1536.85
令和2年度4～11月(6月以外)																																																																																																																																							
品目	小学校		保育所		支援学校		合計																																																																																																																																
	回数	量(kg)	回数	量(kg)	回数	量(kg)	回数	量(kg)																																																																																																																															
こまつな	5	180.6	5	115.9	0	0	10	296.5																																																																																																																															
じゃがいも	0	0	1	18.8	0	0	1	18.8																																																																																																																															
玉ねぎ	5	301	4	111.1	0	0	9	412.1																																																																																																																															
にんじん	0	0	1	4.7	0	0	1	4.7																																																																																																																															
青ねぎ	5	47.9	2	4.65	0	0	7	52.55																																																																																																																															
かぼちゃ	1	76	1	18.6	0	0	2	94.6																																																																																																																															
さつまいも	3	254	3	82.2	0	0	6	336.2																																																																																																																															
枝豆	1	70	1	16	1	35	3	121																																																																																																																															
だいこん	1	74	1	28.3	0	0	2	102.3																																																																																																																															
溶いも	1	74	0	0	0	0	1	74																																																																																																																															
味噌	1	19.7	1	4.4	0	0	2	24.1																																																																																																																															
合計	23	1097.2	20	404.65	1	35	44	1536.85																																																																																																																															


【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	京都府
取組市町村名 取組団体・企業名	亀岡市
取組の名称	「保育所、学校給食における地元産農産物利用推進事業」
実施時期	令和2年8月～12月
取組内容	<p>地産地消を推進し、食への関心を高め、健康づくりにつなげていくことを目指し、学校や保育所給食に安全・安心な地元産農産物や京のブランド産品を供給しています。小学校給食だよりや保育所給食だよりの一部を活用して地元産農産物について記載した特別号を発行しています。令和2年度は、地元産の農産物と他所で作られた農産物を比べ、その違いを見つけることで、改めて地元産農産物について考える機会づくりをしました。見た目やその大きさ等、わかりやすい違いから、育て方や生産者の思い等の違いについても紹介することで、より多くの人に地元産の農産物の良さを伝えられるように工夫しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>小学校給食だより9月号</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>保育所給食だより9月号</p> </div> </div> <p>共通テーマ【比べてみよう！○○のいろいろ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学校給食だより 年4回発行（9月、12月、1月、2月（予定）） 1回18校 計4,222部配布 ○保育所給食だより 年4回発行（8月、9月、1月、2月（予定）） 1回8園 計600部配布

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	京都府
取組市町村名 取組団体・企業名	京丹波町
取組の名称	「学校給食における地元産食材を活用した「Local Food Day」及び「まるごと京丹波町味夢くんランチ」の実施」
実施時期	<ul style="list-style-type: none"> ・Local Food Day…令和2年6月～12月に1回 ・味夢くんランチ…2学期 1回（開催月は地区ごとに異なる）
取組内容	<p>■<u>Local Food Day</u></p> <p>月に1回「Local Food Day」を設け、町内産食材の使用を特に意識した給食を提供。今年度は、小学校1校、中学校2校で6回実施。（同校で3学期も2回実施予定あり）</p> <p>■<u>まるごと京丹波 味夢くんランチ</u></p> <p>ほぼ全ての食材を町内産で作る「まるごと京丹波 味夢くんランチ」の日を設け、子どもたちに町内産の野菜や肉、特産品などについて伝えるとともに、保護者にもお便りを通じて発信している。（味夢くんは、京丹波町の食のキャラクターの名前）今年度は、町内すべての小・中学校で1回実施。（小学校3校で3学期も1回実施予定あり）</p> <div style="text-align: center;">  <p>(写真：味夢くんランチ)</p> </div> <p>子どもたちは、地元にはどんな食材があるかを学ぶことができ、季節ごとの食材を意識できるようになった。また、給食の食材と学習した内容を結びつけて理解することができた。</p> <p>これらの取組により、第2次京丹波町食育推進計画における目標「地元産の野菜や特産物の積極的な活用と推進」「家庭や地域への食育の取組を発信」「地元産の野菜や特産物の積極的な活用と推進」の達成度向上に貢献し、「京丹波野菜たっぷり献立の日」では、数値目標 1/3 を達成した。そのほか野菜だけでなく、肉や味噌等の食材の活用にも取り組んでいる。</p> <p>今後は、子どもたちが直接、生産者・調理員など作ってくれている人の想いを聞く機会を増やしたい。</p> <p>また、引き続き、給食食材の生産量の確保を、生産者と調整していきたい。</p>

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	京都府
取組市町村名 取組団体・企業名	京丹後市（京丹後市農業経営者会議）
取組の名称	「学校給食における「まるごと京丹後食育の日」の取組」
実施時期	令和 2 年 11 月 20 日（金）
取組内容	<p>京丹後産の新米や旬の野菜、果物を市内の全小・中学校に提供し、学校給食の食材として使用する取組。また、食育の一環として各小・中学校において、市内の食材提供農業者のインタビュー映像を各学校において放映し、生産者の思いや生産物についての情報発信を行った。</p> <p>○提供学校：23 校（市内全小中学校） ○提供食材及び量：10 品目 さつまいも：107.8kg、堀川ごぼう：57.3kg、水菜：19kg、大根：69.4kg、白菜：223kg、ほうれん草：51.9kg、にんじん：34.5kg、小かぶ：69.5kg、葉ねぎ：13.4kg、新興梨：519 玉 ○提供農家：10 名 ビオ・ラビッツ(株)、(株)野木源、(株)エチエ農産、安田和幸、(株)丹後岩木ファーム、農事組合法人田吾作、山野勝彦、中川秀雄、(株)かね正アグリシステム、安井松弘 ○配達者：8 名 (株)丹後王国ブルワリー、安田和幸、中川秀雄、(株)野木源、ビオ・ラビッツ(株)、農事組合法人田吾作、(株)エチエ農産、事務局担当者</p> <p>例年は児童生徒と食材提供農家と一緒に給食を食べる「交流給食」を行っているが、本年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、交流給食を中止し、代わりに、市内の食材提供農業者に事前インタビューを行った映像を各学校において放映した。本取組を通じて、コロナ禍で課外活動ができなかった学校も、生産現場の雰囲気や生産者の声が聞けて良かったという声があった。</p> <p>同映像は京丹後市農業経営者会議の YouTube に掲載することで、児童生徒だけでなく、保護者や市内外の方への PR にもつながった。</p> <p>映像の視聴は、視聴環境が整っていない学校は実施しにくく、小学校低学年にとっては給食を食べながら映像を見るのは難しいため、これらの改善が必要。</p>